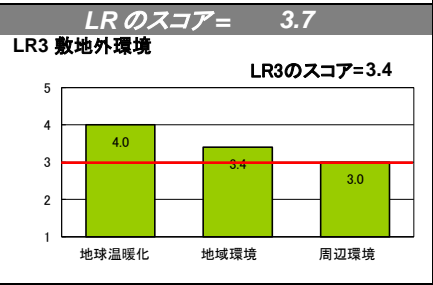
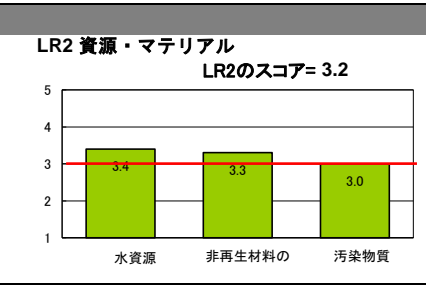
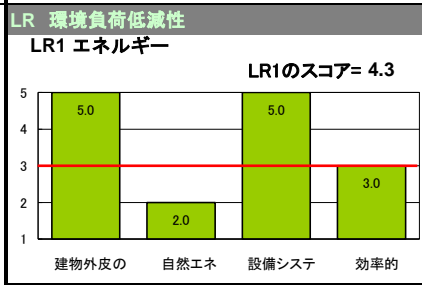
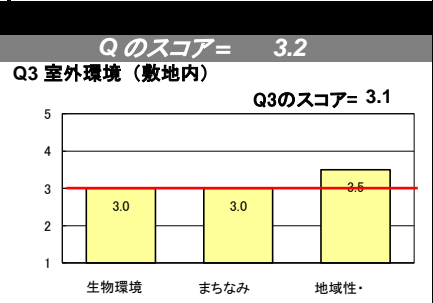
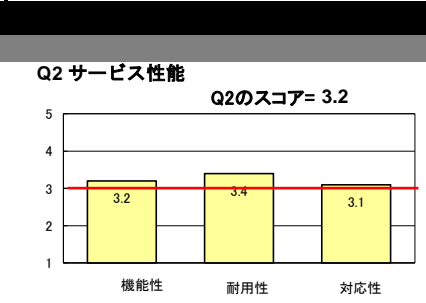
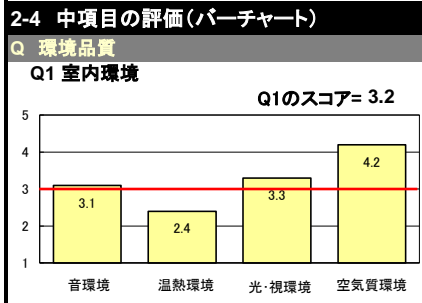
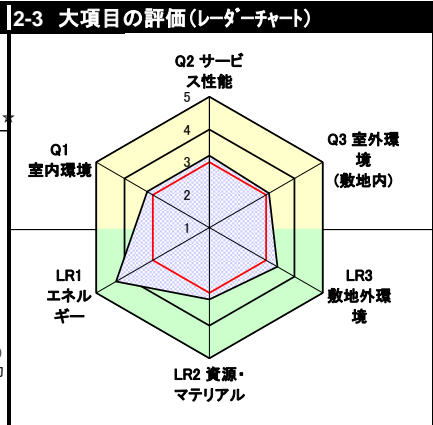
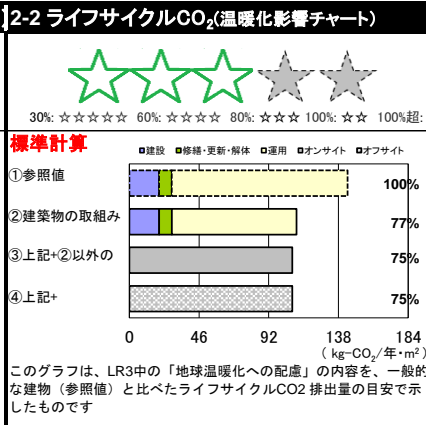
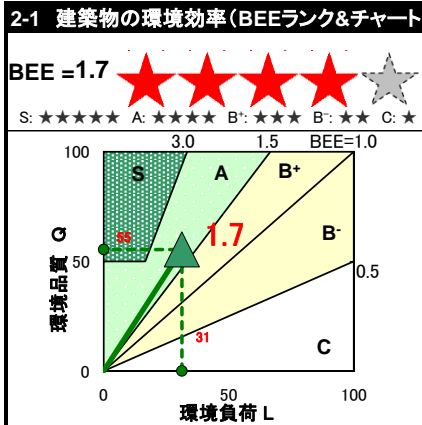


1-1 建物概要	
建物名称	(仮称)字打越寄宿舎計画
建設地	神奈川県藤沢市遠藤字打越6701-1
用途地域	準工業地域
地域区分	6地域
建物用途	集合住宅
竣工年	2021年2月 予定
敷地面積	1,971 m ²
建築面積	866 m ²
延床面積	2,992 m ²

階数	地上4F
構造	RC造
平均居住人員	110 人
年間使用時間	6,478 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2020年4月24日
作成者	西松建設
確認日	2020年4月24日
確認者	西松建設



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
内部環境については、各寮室の開口は遮音性が高いサッシを用い、大きな開口とすることで昼光率を高めた。内装材はF☆☆☆☆を全面的に採用し、換気量を確保した。環境負荷低減については、外皮の断熱性能を高め、高効率の空調・給湯設備を採用し省エネを図った。		
Q1 室内環境 音環境については、寮の窓に遮音性能T-2のサッシを採用した。温熱環境については、H28年度基準の外皮性能をクリアする外皮とした。光環境については、寮室の窓を大きく取った。	Q2 サービス性能 機能性については、寮室の天井高さを2.5mとした。対応性・更新性については、階高を3m以上とすることでゆとりのある空間とした。	Q3 室外環境(敷地内) 外構は条例の基準を満たす緑化をおこなっている。
LR1 エネルギー 積極的に省エネを図っている。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護については、水栓に節水器具を使用し、節水を図った。非再生性資源の使用量の削減については、エレベーターピットに高炉セメントを採用し、環境負荷低減に考慮した。	LR3 敷地外環境 光害の抑制については、屋外に広告物照明を設置していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される